

第16回青森ねぶた祭検討特別委員会会議概要

日 時 平成19年4月4日(水) 13時30分～15時15分

場 所 ラ・プラス青い森 4F ラ・メール

出席委員 蝦名委員長、佐藤副委員長、武田委員、對馬委員、勝又委員、柳谷委員、奈良委員、澤田委員

事務局 市石澤課長、協会櫻田専務、山田事務局長

欠席委員 若井委員、千葉委員、太田委員

○委員長挨拶

7月半ばを目途に委員会を終えたい、報告書は8月のねぶた、ロサンゼルスねぶたが終わってから完成させたい。

○会議概要

①前回の議事概要について

事務局より前回の会議概要を説明し、内容を確認した。

②祭りの賑わいづくりについて

- ・大型ねぶたは自由に通れないので、自由運行は子供ねぶただけになる。
- ・柳町通りのねぶた展示は、安全のためにガードマンが必要だし、団体の協力も必要。
運行時だけではなく小屋出しや小屋に戻ってくるまでの動きが面白い。雨天時のビニール掛けやラッセランドでの囃子の盛り上がった様子も観光客に喜ばれる。(しかし、近所迷惑のため夜間時の団地内での囃子演奏は禁止。)
- ・ミュージアムが出来たらラッセランドと連携をとったイベントの仕掛けを作ってはどうか。カラス問題があるかもしれないが、10時くらいまで祭りの余韻が欲しい。
- ・実験的に1台だけ、1日だけでも柳町通りに大型ねぶたを展示し、研究してはどうか。
- ・自由運行にしても展示にしても近隣町会の了解が必要だ。
- ・ねぶた前の31日になにか仕掛けて前夜祭、ねぶたに結びつけて、市民を巻き込み、ねぶた前後に祭りの余韻を伸ばしてはどうか。
- ・祭り終了後1時間は移動圏内なので、観光客は県外に移動し宿泊している。青森県内の祭りを広域的に結びつけ、県内に観光客を留めるように考えたい。
- ・ねぶた運行中の観覧者とのコミュニケーションだけでなく、ねぶた期間中にねぶた関連の映画祭やシンポジウムがあっても良いのではないかな。
また、ねぶただけではなく、湾内クルージングなども設けても良いのではないかな。
- ・今までも試みたが宿泊、交通機関が確保できないのがネック。しかし、ねぶた期間前後の有効活用が望ましい。

③ラッセランドについて

- ・テントの耐用年数は7年なので、平成26年にすべて新しいテントに替えたい。平成23年から検討委員会を設け1年間協議し平成24年に青森市へ予算要求し、平成26年に供用開始としたい。
- ・ねぶた特区に関係するが、ねぶたの高さを何mまでにするのかによって小屋の高さも変わってくる。
- ・関係者の駐車場の確保、お客様の安全、ゴミ問題、解体作業の混雑など問題が沢山ある。
- ・平成23年の検討委員会のときは、ねぶたミュージアムが出来ているので、その時の状況を踏まえ協議していく。

④ねぶた特区について

- ・旅館法の問題があるかもしれないが、宿泊施設のキャパが少ないので、空きマンションを活用し、観光客へ宿泊場所を提供が出来ないか。
- ・祭り特区を得たいが保健所の関係で食べ物は難しい。宿泊だけでも試してみればどうか。
2、3日だけや200名だけなどの人数制限、家族だけ、オートキャンプ・車だけなど実験的にやってみてはどうか。
- ・不動産業者の空きマンションや企業の宿舎など検討したが、使用後のクリーニングや値段・門限・セキュリティなどの問題で折り合いがつかなかった。特区以前に管理問題が多く困難。
- ・少人数だけ試験的に実施し、その後特区申請をしてはどうか。

- ・ねぶたコースの信号機や感知器を整備してもらいたい。
- ・まずは、ねぶたの高さ、要望先などを今後、関係機関の事務方と協議し実施したい。前の警察署長も予算的に厳しいので早めに申請した方が良いと言われた。
- ・次回のリニューアル時に可動式に変更してもらおうよう要望する。

⑤青森花火大会・海上運行について

- ・海上運行時にねぶたを2台くらい燃やして欲しい。
- ・竹とろうそくで作らないと出来ないし、環境問題もある
- ・海上運行費用800万円の一部を花火大会の売上げで一部負担してもらえればどうか。
- ・負担は厳しいと思う。以前に比べると、清掃代やスタッフ人件費などは花火で負担してもらっている
- ・ので、実行委員会の経費が軽減されている。
- ・海上運行台数をもう1、2台増やしたいが、費用がかかる。団体側も100万円程度の出費となる。
- ・ねぶた祭と花火大会は一体化なので花火実行委員会に交渉してはどうか。
- ・今後、海上運行台数の増加を検討する。

⑥その他

- ・JCでハネトの後継者育成、地域コミュニティを目的に、ねぶたを盛り上げたいということで5/4・5春フェスで「仮称：青森ねぶたハネト自慢大会」を企画している。10～20人基本的・楽しい跳ね方をしたいので、各団体の協力を得たい。
- ・実行委員会でも是非協力したい。ハネトを増やしたい

- ・郊外の人ほどの団体に参加すればいいのかわからない人もいる。学校や地域と大型ねぶた団体が連携をとり受入体制を整えることができないか。
- ・町内に呼びかけして、受入している団体もある。

- ・春フェスは青森ねぶたとYOSAKOI、更に今年は竿灯も参加だが、新幹線開業に向けて青森と八戸・弘前・五所川原の祭りをミニ版で良いので参加させると、青森県の祭りのPRとなるのではないか。
- ・春フェスタは中心市街地の活性化が目的で始まったが、今は春の観光の目玉にならないかという話しになっているので、事務局に提案したい。

⑥次回委員会開催について

本日で全テーマが終了したが、まだ未確定の保存会のねぶた基準はワーキングを設けて議論し、最終7月に委員会を開催したい。

座長は對馬委員にお願いし、メンバーは一任したい。

以上